

ゆる〜く

女性たちは連携せよ！

こんなあなたなら、
コラボ企画、ユニット活動、連携営業がうまくいく

連携のルールブック

講師ギルド Powerful Woman 世話人会

1 誰と組むか

- まずは「気が合いそうな人」「相性の良さそうな人」と組むのが基本。
直感で「この人苦手」と思ったらやめておきましょう。
付き合っているうちに意外といい人だったということも時にはありますが、人の性格は変わりません。はじめにイヤな性格はどこまでいってもやっぱりイヤな性格なのです。
- よくわからない場合は1回「ゆるく」組んでみる。
何か簡単なイベントを一緒にやってみるとか、失敗してもダメージの少ないことをやってみます。結果、すごく楽しかったらまたやればいいし、ダメなら次誘われても上手に断りましょう。
- 世間の評判より自分の直感を信じる。
ひとは付き合ってみないとわかりません。
- 損得勘定だけで組むと失敗することが多い。
そういう場合、相手もほぼ同じことを考えているものです。
必ずどこかで破たんします。

2 企画の最初にするべきこと

- 役割分担を明確にする。
口約束は「言った言わない」のモトです。
必ず時間をとって会議をし、企画の全体像を決め、やるべき仕事をリストアップします。そしてそれぞれの仕事を誰がやるのか納得して決めます。
その際 5W1H の要素をふまえると漏れがありません。
「誰が」「いつ（いつまでに）」「何を」「どこで」「なぜ(目的)」「どのように」
- 金銭的負担と利益が出た場合の分配を明確にする。
自己負担を伴う企画の場合は、負担金額を決め、やってみなければわからない場合は想定金額と、負担割合を決めます。支払期日も決めます。
同様に利益の分配方法もあらかじめ決めます。

3 情報共有

- **決めた内容を文書にして共有する。**

印刷したものを共有してもいいし、メールや SNS の添付ファイルで共有するのもおすすめです。わからなくなったらいつでも遡って確認できるからです。

途中で変更が起きた場合にも、確実に情報共有します。

この場合もその都度メールや SNS に記録を残すと「言った言わない」がありません。

- **しつこいくらいに情報共有。**

予想外のことや、緊急に判断しなければいけないことが起きた場合、「この程度なら」と思わずに、必ず相談して決めます。

ひとりでする仕事と違うのはここです。決定に時間がかかることを覚悟しましょう。そこで焦って独断で決めても、時間をかけてみんなで決めても、結果はさほど変わらないことが多いです。

4 おつきあいのマナー

- **親しくなっても礼儀正しく。**

親しくなるほど礼儀正しくするのが連携を成熟させ長持ちさせるコツです。

- **メール、SNS は敬語で。書いたら読み直す。**

メール、SNS は連携する人たちにとって便利なツールですが、顔が見えないので、うっかりすると知らぬうちに相手を深く傷つけていることがあります。どんなに親しくなっても、敬語で書くことと、誤字脱字変換ミスがないか、必ず読み直します。誤字脱字変換ミスは、それ自体失礼ですし、大きな誤解を与える危険があります。

- **相手のプライバシーに踏み込まない、自分のプライバシーを見せない。**

人には聞いてほしくないこともあります。本人から話した場合でも、あまり深入りしないように気をつけます。個人的なことより「仕事の付き合い」を大切にします。

- **ぐちゃや泣きごとを言わない。**

言っている本人は吐き出してすっきりするかもしれませんが、聞いて楽しいものではありません。たび重なると嫌われます。

- **お金の貸し借りはしない。**

お金の貸し借りは人間関係を壊す最も大きな原因になります。財布を落としたとか、小銭がないとか緊急の時なら、とりあえず、「戻ってこなくても困らない金額」の範囲で貸します。そして、ちゃんと返してくれるなら OK。平然と返さない人でしたら、お金にルーズな人ですから、以後仕事では組まない方がいいです。